

'91

&lt;第2号&gt;


は し  
8月4日は橋の日

発行  
宮崎「橋の日」  
実行委員会  
印刷  
(資)ながと印刷  
宮崎支店

# 楽しい橋の日行事がたくさん!

**延岡市**

第6回

- 橋の市民清掃
  - さわやか橋上ラジオ体操
  - 橋供養（大生け花献花—延岡華道連盟、献酒他）
  - 七色風船配布『五ヶ瀬の流れに』
  - 小中学校スケッチ大会（7月31日 安賀多橋周辺）
- 8月4日午前6時 安賀多橋集合。  
 自然環境豊かな健康まちづくりを目指す市民運動になることを願い、早朝さわやかな「橋の日」行事に。
- 主催 延岡橋の日実行委員会  
 協力 建設省延岡工事事務所 延岡ローターアクトクラブ  
 後援 新ひむかづくり運動県民会議、各報道機関

**日之影町**

第3回

**● フォトコンテスト**

8月4日午前10時より青雲橋公園「神楽殿」。  
 8月4日（ハシ）を「橋の日」と定め、日之影町のシンボルである青雲橋（東洋一）・龍天橋（林道橋日本一）をはじめ大小さまざまな橋の、日頃の恩恵に感謝するとともに、さらに橋や河川にふれあうことを通じ人々の「心のかけ橋」としての交流の広がりを、本町活性化の糧とするため 橋の日イベントを開催します。

主催 日之影橋の日実行委員会  
 協力 日之影町短歌協会 日之影俳句会 延岡市若鮎俳句会 県歌人協会 県俳句協会 アザレアコーラス 日之影中プラスバンド部 町内小 中学校  
 後援 新ひむかづくり運動県民会議 宮崎橋の日実行委員会 日之影町 日之影町観光協会 宮崎日日新

聞社 夕刊ディリー新聞社 夕刊ポケット新聞社  
 日本PCT建設株式会社 森林開発公団宮崎地方建設部 日之影町農業協同組合 日之影町森林組合  
 日之影町商工会 日之影町建設業協会 宮崎銀行  
 日之影支店 宮崎県北部信用組合 日之影郵便局  
 柚子の里本舗

**宮崎市**

第5回

- 橋橋周辺及び大淀河川敷の清掃奉仕
- 大淀川をきれいに “魚の放流”
- 橋の木 記念植樹
- 橋の日新聞発行（座談会開催）
- 橋へのお礼献花
- 橋の日PR横断幕・看板・アドバルーンによってPR
- 橋の日の歌発表とふれあいコンサート
- 橋の日協力者への感謝状の贈呈

8月4日午前8時45分 宮崎市役所前噴水公園  
 橋の日を郷土のこころのイベントにしよう。  
 橋や河川とのふれあいの日としよう。  
 河川の愛護・浄化への関心を育てよう。  
 橋の恩恵に感謝しよう。  
 橋の日を全国運動に発展させよう。

このような願いをもっています。

主催 宮崎橋の日実行委員会  
 後援 建設省宮崎工事事務所 宮崎県 宮崎市  
 新ひむかづくり運動県民会議 各報道機関  
 協力 旭化成工業株式会社 雲海酒造株式会社 南九州  
 コカコーラボトリング 株式会社ポンベルタ橋  
 株式会社宮交シティ 宮崎フジカラー ホテルブ  
 ラザ宮崎 P C 建設業協会宮崎県内事務所 日本  
 橋梁建設協会九州事務所会

## 第2回 橋と人と文化 橋の日座談会

第5回宮崎橋の日を記念して、7月5日宮崎橋の日実行委員の他、県内の橋の日実行委員会合わせて10名の皆さんに駆けつけていただき、橋について、河川について想いや思い出を多いに語っていただきました。

### 参加者

青井 正彰	藤本 廣	宮崎大学工学部教授（土木工学）
前田暢俊	新ひむかづくり運動県民会議事務局長	（宮崎橋の日実行委員会副会長）
入沢志津子	毛利前田建築設計事務所取締役社長	（宮崎橋の日実行委員会副会長）
梅戸勝恵	鉢脈社専務取締役	（宮崎橋の日実行委員会代表）
福島順一	原田玄雄	初代橋橋をかけた福島邦成さんの曾孫
梅戸勝恵	原田暢俊	宮崎医科大学文部省講師教授
野中玄雄	川口道子	日の影橋の日実行委員会代表
福島順一	川口道子	日の影橋の日実行委員会代表
梅戸勝恵	原田暢俊	日の影橋の日実行委員会代表
青井正彰	藤本廣	日の影橋の日実行委員会代表

たくさんの橋があるから橋の日を世界に広げたらどうかと提言をされました。こういった夢もあってもいいですね。

### 金門橋が人でいっぱいに

ロサノジエルスの僕

ロバート・J・アダムス

の友達が住んでいる

ところの金門橋を人で一杯にするお祭りみたいな行事があつた

そうです。宮崎でも橋が杯にならまで人が集まつたらおもしろいですね。

原田 この前、話をしていた

藤本

綱引き地蔵の取り合い

があつたそうですね。これ以上踏み込んだら喧嘩になるんで

金門橋が

すよ。

そういう事で歴史のい

が降って、こっちは降っていいな

人でいっぱいに

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 なんですが、大淀の駅前

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

藤本

どんな事が蘇ってきま

が降って、こっちは降っていいな

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

藤本

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐

がかかるんですね。

原田 この前、話をしていた

川口

かしむのかな?とか、

がすると言いますね。

原田 この前、話をしていた

野中

みんなが何故、橋を懐



川口道子さん

い橋、気持ちのいい橋にすると  
いたものも、田舎の橋にも必要  
と感してくるのではないで  
しょうか。

**藤本** 確かにそうですね。土  
木学会でも昭和47年か  
ら学会の研究発表会の中に景観  
工学のセッション（分科会）で  
も、畠山木工学の中で議論され  
ているということです。最近は、  
橋の設計も余裕が出てきていて、  
建設省もお金を注ぐようになりました。  
そいつう楽しい橋にするための予算をつけるようにな  
りました。

**川口** 横浜のベイブリッジで  
すか、あれを見るため  
にものすごい渋滞になってるん  
ですねあれは見るためにあるの  
で渋滞になってるのがいいので  
すよ。逆に…また、橋の上の  
景観もまた素晴らしいですね。  
今の橋は街頭みたいなものが  
立っているという景観のものが  
多いようですが、もう少しライ  
トを立体的に扱ってみれば横浜  
並みになるのになあと思います。

**原田**

また、橋の上の光と言  
うのは川面にも映つて  
2倍にもきれいなんですね。  
だから橋の上はガス燈があつ  
りとかの方がロマンチックな場  
合もありますね。

光の質ですね。照明の  
光か、炎の光か、その

**藤本**

橋も、本ではなく2本、  
3本で橋の景観なり考  
えて回遊する面白いと思いま  
す。

**原田** 人の好みですね。  
川の背骨が見えてくる  
と寂しいですね。

それから今、橋は直角  
にしか架かっていません  
ん。多少、斜めでもいいのでは  
ないかと思うのですが…。



## 橋は道路の一部

いいですよ、今は、昔

は、「橋は道の一部だ」と  
言うことで橋を意識させない  
ようにと設計されていました。

しかし、今また人の為の橋だと  
言う理念で変わってきました。

**原田** 橋も、本ではなく2本、  
3本で橋の景観なり考  
えて回遊する面白いと思いま  
す。

**川口**

そうですね、外国には  
多いですね。

**野中**

大淀橋にしてもですが、  
橋を実際、歩いている  
人を見かけませんね。

**川口**

風が強いというのは、  
設計的にどうなんで  
しょうか？例えば高速道路に防  
音のために壁を作りますよね。  
同じように隔壁があるんじゃない  
ですか。

**藤本**

それをしますとね。橋  
の上から川面が見えな  
い。橋の景観も悪くなる。

今の前の橋橋は、欄干間が  
ちょっとしか開いてなかつたで  
しょう。アーチ型になつて赤坂離  
宮あたりの紋を右廻りにしたよ  
うなのがはまつたんですね。  
あれを戦時中に取つて、棒本  
にしたんじやないんですか。

福島順一氏



かげの厚い欄干でした。

車に乗ってる人は身勝  
手なこと言うんですよ

ね。今の橋橋の中央分離帯があ  
るでしょ。本来は外側に欄干  
だつたんです。ドライバーの方  
にあれじゃ、川面が見えないか  
らやめてくれって話があつたん  
です。車乗つて川面見るの贅沢  
だって。



**青井**

子供たちが、昔の橋橋  
や延岡の安賀多橋は欄  
干が大理石でてきており、  
ずうーっとここすりながら、  
川面を見ながら歩くんです。そ  
の楽しみも今はないです。

**藤本**

橋橋は特に橋の日のた  
めに植木を置いて、座  
る場所を作つて、橋を渡る楽し  
みをつくつたらどうでしょう。  
真ん中の中央分離帯を花にしよ



原田 解氏

藤本 私の郷里は筑後川の上流なんですが、川を境にして町が分かれて、私たちの住んでる北側の町のほうがお祭りは賑やかだったんです。秋の祭りに10銭銭貨からたまに50銭銀貨を貰って、橋を渡って、「ここからお金を落したらどうなるのだろう」とふと思つて落としてしまったんですよ。(笑)

**入沢** 橋の上にチリカゴを置くのは考えもの……、  
**原田** 管理が大変です。  
橋の欄干に平和台の像  
(5人像) みたいなもなですが  
のを飾ると趣が変わるのでですが

うという話があります。今の分離帯はデザインが悪いし、サビが出だしたでしょ。補助金の期限が切れたと思いますので、はづしてつづじでも植えたらどうでしょうか。どうも今のままで評判が悪くて……。

人にやさしい橋



前田暢俊氏

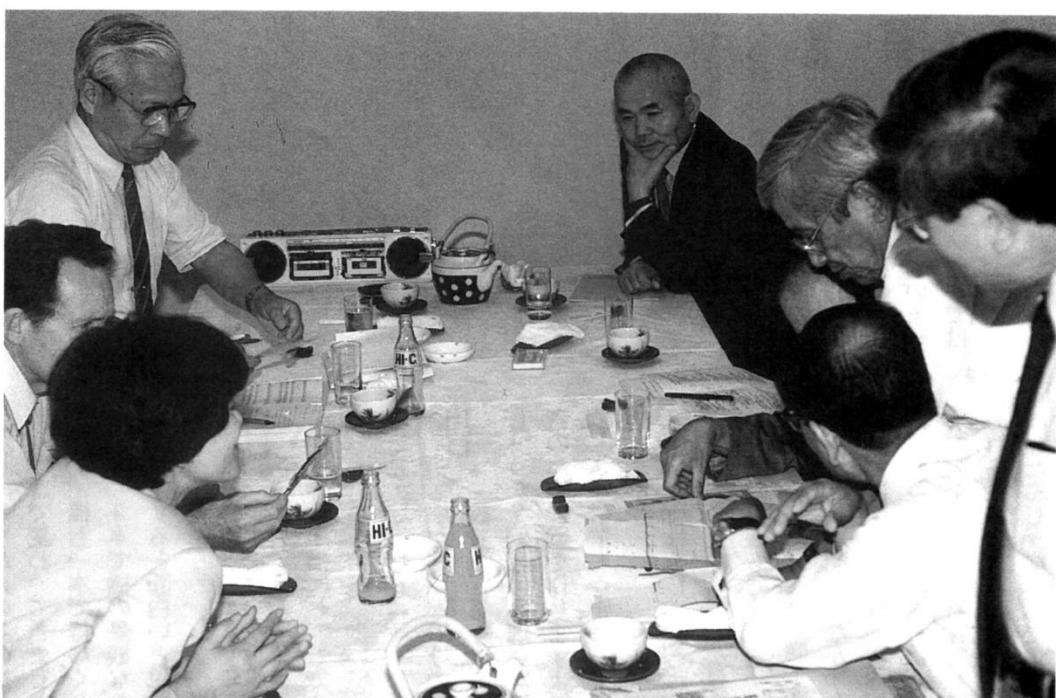
川口 キヤツチコピーで言え  
藤本 ば「人にやさしい橋」  
橋橋が設計される時は  
なんだけど少しも優しくないで  
すね。時代的にも優しさを求める  
ようになってきたから。

機能的なものがピークだつたんですよ。

**原田** 来年が橋橋の還暦なんですね。60年目を迎える橋には、橋と人間のふれあいが沢山あつたと思うのですよね。今考る時なんですよ。  
**川口** 文化・文明を考る時なんでしょう。

**前田** ぼくは橋を渡るとか遠くから見るとかではなくて、下を見るということを考えてみるんですよ。

**原田** 橋を書いた郷土作家は  
阿萬さんという作家は河川敷に  
寝ころんで、夕焼けで向こう側  
の橋を見るとシルエットがきれ  
いです。橋の見方というのはそ  
実に多いですよ。



梅戸勝恵氏



入沢志津子さん

田野から北郷に行く橋があるで  
しょ。真下にいったんですよ。  
なんでこんなブイの字の橋脚にな  
ってるのかと不思議でしたが  
岩盤の関係でここしか建てられ  
ないのでブイ字型になったのだ

梅戸 平坦地からの見方と山の上の見方と違うわけですね。さっきから橋の掘り起こしををしていますが、ふと思つたのが日之影は橋の町と言われますが、まだ歴史は浅いんですよ。それまでは渡しだったんです。ですから 一旦出水がすると、水が速く切れるんですよ。そういうことで出水が長いと渡しが通れなかつたんですよ。私は日之影の 番下の方なんですが、それから高千穂まで登つ

渡つて向山の方を降りてこない  
といつて、高千穂峠の新橋を  
と渡しを渡れないという生活を  
していました。だから、親戚は  
川を隔ててこちらは、こちらで

そういう橋の下も見せて、若い人達にもう一度橋を見直す機会を与えてやらないといけないんですね。



藤本 廣氏

むこうは、むこう。という風でした。宗教もそうでしたね。後で橋が架かつてからおかしい訳ですね。橋が架かつて分かったわけでなかつたら、宗教から親戚からいろんな事が川一本で切られているというのがありますね。

橋は生命線

青井　日之影に自然の木の  
根っこ橋があるんです  
よ。あれは橋の原点になるん  
じゃないでしょうか。

原田　いま吊橋が残っている  
ところがありますか。

梅戸　あります。吊橋に、め  
がね橋ですか、あります  
ですね。あれを下から見るとすご  
いですね。特に熊本県が多いで  
すね。

**原田** いま吊橋が残っているところがありますか。  
**梅戸** あります。吊橋に、めがね橋ですか、ありますね。あれを下から見るとすごいですね。特に熊本県が多いですね。  
**藤本** 都城、三股、田野あの辺にまた、石造アーチがありますね。  
**梅戸** タツミ前県道に大きな橋があるんですが、これは、通潤橋を作った人が作つ

川を渡れなかつた  
青井 高千穂にいる際に、文書を洗い出したと  
西郷さん に陳情書でおもしろいのがあ

また、高千穂橋の所に槍飛び橋というのがあるんです。槍で棒高飛びの要領で渡ったのです。そういう面白い橋を残したり、橋から橋を箒かつきで競争をやつたりするとかいろいろやれると思うんですよ。

原田 それにしても川は流通産業の交路ですよね。西郷さんが鹿児島に敗走するとき、見立の網瀬川が渡れずに、結局、かづらを渡して逃げたんだけど、そこでずいぶんやられているんですね。今だつたら何秒もかからずに渡るのに。ですから、昔の人は橋の有難さというのは身にしみているのです。

また、高千穂橋の所に槍飛び

梅戸 原田 得なかつたんですね。 橋が生命線ですね。 昔はですよ、高干穂から歩いて下りてきて日之影から船で川水流におりてきましたよね。船着き場があつたんですよ。

たと言いという言い伝えがあります。  
前田 影は、橋としてはすご  
く条件が整っていますね。

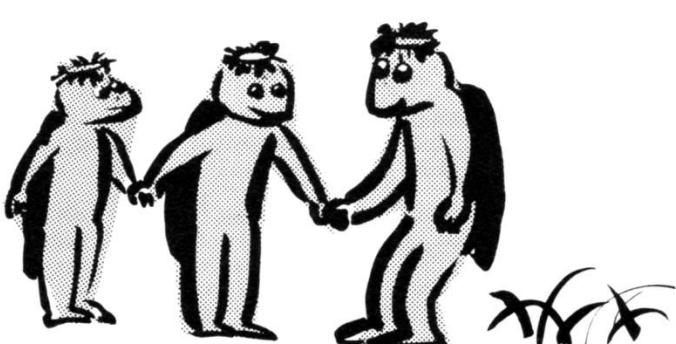


青井正彰氏

野由玄雄氏

あつて犠牲者がが出ただらうし、  
信仰の為の水神さんでもあつた  
だらうし、水神さんがあれば必  
ず子供相撲などの、年に一度の  
行事もあるわけです。そこに神  
秘的な、人間と健康の関わりが  
あって、ダムができたから河川  
敷ができたのではなく水が減っ  
たから河川敷ができたわけで、  
そこを考えると水量によつてそ  
の都市の人間の健康の度合とい  
うのはずいぶん違つてきますね

原田 それから、水郷と言うのは延岡が一番ですよ。小さいところでは日之影とか、そういう名前を残しておかないとなぜそう言われたのかがわからなくなりますね。



青井　たくさんのお話しやご意見をいただきましたが、やはり河川や橋は昔から人

間にとって切っても切り離せない存在であり、又これからもどう付き合って行くかが課題だと思います。

